

## 「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり	
施策	①地域安全対策の推進		
(施策の小項目)	○安全・安心を支える社会基盤の構築		
主な取組	警察基盤整備事業	実施計画 記載頁	132
対応する 主な課題	○沖縄県は海域を含めると広大な行政区域を持っている上、人口や入域観光客数の増加、米軍基地から派生する諸問題等の特殊事情を抱えている。また、警察官1人あたりの110番件数が全国で最も多い。		

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	犯罪の起きにくい沖縄県の実現に向けた強い警察基盤を確立するため、警察施設の計画的整備、警察官の資質の向上、交番相談員の配置による交番機能の充実・強化(街頭活動の活性化)、緻密かつ適正な捜査等各種警察活動に資する各種装備資機材の充実等を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	警察署庁舎整備			→	2署		→  県
	警察基盤の整備、装備資機材等の整備						
	交番相談員の配置による交番機能の充実・強化						
	警察官の資質向上						
担当部課	警察本部 警務部警務課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
警察基盤整備事業	256,514	250,401	<p>警察基盤を強化するため、老朽施設である石川警察署白浜交番の建替整備を行った。年度内に建替整備予定であった那覇警察署渡嘉敷駐在所については、解体中に内部アスベストが検出され、除去作業等に時間を要し次年度繰越となったが、次年度早々に整備完了予定である。交番相談員による地理案内15,812件、遺失・拾得届出受理9,959件、各種相談等の指導助言1,057件、迷い子等の取扱い52件、子ども見守り活動2,638回、立番9,458回を実施した。</p> <p>また、警察官の資質向上を図るため、専科教養等へ507人を派遣、国際化や犯罪の多様化等に対応するため専門的な知識及び技能の習得に向けた、警察大学校及び各管区警察学校へ警察職員を派遣した。</p>	県単等
活動指標名			計画値	実績値
警察署庁舎整備			2件	1件

様式1(主な取組)

推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果
順調	石川警察署白浜交番の建替工事を実施した。那覇警察署渡嘉敷駐在所については、解体中に内部アスベストが検出され、除去作業等に時間を要し次年度繰越となったが、次年度早々に整備完了予定である。警察官の資質向上のため507名の職員を警察大学校・各管区警察学校等へ派遣した。また、警察官1人当たりの負担率の高い交番等に相談員を配置するなど適正な運用により、交番機能が補完され、警察官の街頭活動力が強化された。 これらの取組により、警察基盤の強化を図ることができた。

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
警察基盤整備事業	305,978	那覇警察署安里交番、八重山警察署伊原間駐在所、八重山警察署上原駐在所を新築工事 交番相談員を12警察署に38名配置し、警察官が交番等を不在にする場合、これを補完して在所、立番勤務を行うとともに、来訪者に対する地理案内、遺失物・拾得物の届出の受理などの活動を実施して交番勤務員の街頭活動を支援し、県民の安全・安心を確保する。 各階級に応じた必要な知識及び技能の習得、国際化や犯罪の多様化等、特定分野に関する専門的知識、技能の習得のため、警察大学校や各管区警察学校等への職員を継続派遣する。	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
<p>①糸満警察署建替工事に向けて、早めの調整を行う。</p> <p>②平成28年6月でリース期限の満了を迎え、安定した通信回線(LTE回線)とすることや装置の刷新についても協議を重ね、より充実した検視支援装置の契約に向けた準備を促進する。</p> <p>③捜査支援カメラは電源の確保が必要であるが、カメラの設置箇所の選定に伴い、山林地等の電源がない場所での活用も考えられることから、電池式カメラ等の購入・整備に取り組む。</p> <p>④交番相談員に対する指導教養を実施するとともに、定期的な交番相談員の配置運用の見直しを図る。</p> <p>⑤犯罪のグローバル化、情報通信技術の発達による犯行形態の多様化、広域化などに迅速・的確に対応できる人材を育成する。</p>	<p>①平成28年度で建替予定地の一部を取得、平成29年度で残りの予定地及び基本・実施設計の予算を獲得し当初の計画に追いついた。</p> <p>②これまでの検視支援装置は、電波受信が不安定であったため、平成28年6月にリース期限が満了することにより、業者と協議し、平成28年7月より安定した通信回線(LTE回線)を使用する検視支援装置の契約を結んだ。</p> <p>③電池式カメラの購入・整備を実施し、被疑者検挙に取り組んだ。</p> <p>④交番相談員に対する指導教養の実施により、交番相談員の各取扱が、地理案内:前年比+1,587件(+11.2%)、遺失・拾得届出受理:前年比+664件(+7.1%)、各種相談等への指導助言:前年比+19件(+1.8%)、迷い子等の取扱い:前年比+21件(+67.7%)、立番:前年比+1,004件(+11/9%)が増加した一方で、子ども見守り活動:前年比-702件(-21.0%)が減少</p> <p>⑤多様化、広域化する犯行形態に迅速・的確に対応べく、適宜カリキュラムを見直すなどして教養内容の充実化を図り、情勢に即した質の高い研修を実施できた。</p>

様式1(主な取組)

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
刑法犯認知件数	12,403件 (23年)	8,082件 (28年)	11,000件 以下	4,321件	996,120件 (28年)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	刑法犯認知件数は平成28年度は8,083件となり、基準値である平成23年から4,321件減少、目標値から2,918件減少し、目標値を達成することができた。 引き続き、犯罪の起きにくい沖縄県の実現に向け、取組を強化する。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p><b>○内部要因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糸満警察署新築工事については、平成29年度で建設予定地(市有地)の残り部分と、基本・実施設計の予算を獲得しているため今後、事業が遅れないよう関係機関と調整していく。</li> <li>・交番等建替整備については、繰り越さないように早めの予算執行に努める。</li> <li>・新たな検視支援装置を導入したことにより、同システムを最新の状態で保つために、適宜、財政当局との調整が必要である。</li> <li>・交番相談員のスキルアップ、交番等勤務員との連携強化、犯罪情勢及び体制に応じた交番相談員の運用に努める。</li> <li>・短期間の研修では語学等の専門的な技能を習得することは非常にむずかしく、継続した研修・教養の実施が必要である。</li> </ul> <p><b>○外部環境の変化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の体感治安は依然として改善されておらず、その要因としては、ひったくりなどの街頭犯罪や一般住宅を対象とした侵入窃盗、色情ねらいが挙げられ、これらの犯罪の特性として連続的に発生し、凶悪犯罪に発展するおそれがあることから、早期検挙が求められる。</li> <li>・犯罪のグローバル化・サイバー犯罪等多様化する犯行形態に対応すべく、人材の育成に尽力しているが、今後、さらに増加が見込まれる訪日外国人の諸対策については、数年後、人材育成が追いつかない状況になるのが懸念される。</li> </ul>
---

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・検視支援システムの安定した通信回線を確保するため、継続的な業者との綿密な協議及び連携が不可欠である。</li> <li>・発生状況・場所が多種多様であることから、あらゆる現場にも対応出来るよう、様々なカメラの性能・機能を選定し、被疑者の検挙向上を図る必要がある。</li> <li>・各署の犯罪情勢や交番等の体制に応じた、定期的な交番相談員の配置運用の見直しを図る。</li> <li>・職員に対する継続した研修・教養を行うことが重要である。</li> </ul>
--

#### 4 取組の改善案(Action)

- ・交番建替については、上半期の予算執行に努める。
- ・検視支援装置の安定した通信速度等を保つため、装置の刷新についても検討し、適宜、財政当局との調整を図っていく。
- ・現配備のカメラは、夜間設置した際に赤外線が発光することから、赤外線が発光しないタイプのカメラを購入・整備する。
- ・各署と連携して交番相談員に対する指導教養を実施するとともに、定期的な交番相談員の配置運用の見直しを図る。
- ・犯罪のグローバル化、情報通信技術の発達による犯行形態の多様化、広域化などに迅速・的確に対応できる人材を育成する。